

この地球に、まだ四季はあるのか
ヴィヴァルディ《四季》への応答——
気候変動の時代にローザスが放つ、
自然と音楽への静かなる問いかけ

Rosas

イル・チメント・デッラルモーニア・エ・デッラ・インヴェンツィオーネ

Il Cimento dell'Armonia e dell'Inventione

和声と創意の試み

Anne Teresa De Keersmaeker, Radouan Mriziga / Rosas, A7LA5

アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル, ラドワン・ムリジガ / ローザス, アトラファイブ

2026.6.27 Sat. 19:00, 28 Sun. 14:00

ロームシアター京都 サウスホール

主催: ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 | 共同招聘: 愛知県芸術劇場、彩の国さいたま芸術劇場
協力: 東京新聞 | 後援: 駐日ベルギー王国大使館 | 助成: ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーベル

つづきはじまりはじまり

ROHM

ロームシアター京都
10周年記念事業

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

2025年に高松宮殿下記念世界文化賞を受賞した世界的振付家アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルと、鋭腕の振付家ラドワン・ムリジガが、ヴィヴァルディ《四季》を起点に創り出す新作。

2024年に発表され、〈ローザス〉の人気作となった本作が、ついに日本初上陸を果たします。

緻密な音楽分析をもとに振付を構築するケースマイケルと、沈黙の中から動きを立ち上げるムリジガ。4人のダンサーによる跳躍、旋回、回転は、天体の軌道や生命の循環と呼応するように展開します。約300年前の地中海から響く自然賛歌の楽曲と共に、作品はその構造と身体の関係を更新しながら、いま私たちが直面する気候変動の現実を詩的に問いかけます。

“何気なく、しかし知的に構築される、90分間のダンスの幾何学” ★★★★★

—英/フィナンシャル・タイムズ紙

Il Cimento dell'Armonia e dell'Inventione

和声と創意の試み

Anne Teresa De Keersmaeker, Radouan Mriziga / Rosas, A7LA5

振付:アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、ラドワン・ムリジガ

共同創作・出演:ボシュチャン・アントニッチ、ナシーム・パダグ、ラヴ・クルンチェヴィッチ、ホセ・パウロ・ドス・サントス

音楽:アントニオ・ヴィヴァルディ《四季》

録音:アマンディエヌ・ペイエ、リ・インコーニティ Alpha Classics / Outhere Music (2015)

音楽分析:アマンディエヌ・ペイエ

詩:アスマー・ジャマ「We, the salvage」、アントニオ・ヴィヴァルディ「Le quattro stagioni」

世界初演:2024年5月11日ローザス・パフォーマンス・スペース(ブリュッセル) | 共同初演:ド・ミュント/ラ・モネ、カーイテアター、クンステンフェスティバル



アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル
Anne Teresa De Keersmaeker

Rosas

1960年生まれ。ブリュッセルのムードラおよびニューヨーク大学ティッシュ・スクール・オブ・ジ・アーツでダンスを学んだ後、1980年に初の振付作品『アッシュ』を発表。2年後には『ファーズ〜ステイヴ・ライヒの音楽による4つのムーブメント』を初演。1983年にはブリュッセルにてダンスカンパニー〈ローザス〉を設立し、『ローザス・ダンス・ローザス』を発表した。以降、ケースマイケルの創作は、ダンスと音楽の関係を厳格かつ多角的に探求することを基盤としている。1995年には、ブリュッセルのラ・モネ劇場と提携し、パフォーマンス・アーツの教育機関P.A.R.T.S.を設立し、アーティスト育成にも力を入れている。

ラドワン・ムリジガ
Radouan Mriziga



1985年モロッコ生まれ。マラケシュとチュニジアでダンスを学んだ後、P.A.R.T.S.にて研鑽を積み、2012年に卒業。その後、〈ローザス〉『ツイットング』の再構築プロジェクトなど、国際的振付家の作品に参加し経験を重ねる。2014年より本格的に自身の創作活動を開始し、ソロ作品『55』、グループ作品『3600』『7』などを発表。ブリュッセルのカーイテアターや、アントワープのデ・シグナルのレジデンス・アーティストを務め、『Atlas』『Libya』『Aka』ほか、注目作を次々と発表している。2019年〈アトラファイブ〉設立。ケースマイケルとは2020年の『3IRD5 @ W9RK』に続く協働となる。



2026年6月27日[土]19:00、28日[日]14:00

ロームシアター京都 サウスホール

7PM on Saturday 27 & 2PM on Sunday 28, June 2026

South Hall, ROHM Theatre Kyoto

※開場:各開演の30分前 ※上演時間:約90分(休憩なし)

全席指定(税込):

一階席:7,000円/会員特別価格6,300円*

二階席:5,000円

ユース(29歳以下):3,000円、18歳以下:1,000円

*会員:京都コンサートホール・ロームシアター京都Club、京響友の会、

サポーター・パートナー会員の詳細は右記QRから

(最速先行予約や一部割引適用等の特典あり)

※29歳/18歳以下のチケットは入場時に年齢の確認

できる身分証明書をご提示ください。



会員詳細

発売日:一般 3月28日[土]、会員先行 3月21日[土]

・オンラインチケット(24時間購入可 | 要事前登録/無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

・ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL: 075-746-3201(窓口・電話とも10:00-17:00/

年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

・京都コンサートホール チケットカウンター

TEL: 075-711-3231(窓口・電話とも10:00-17:00/

第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

・チケットぴあ <https://t.pia.jp>[Pコード 540-226]

・イープラス <https://eplus.jp/>



オンラインチケット

※未就学児入場不可。

※演出の都合上、開演後はご予約のお席に案内できない場合がございます。

※車椅子でご来場の方は、ロームシアター京都チケットカウンターにて、

チケットをご購入ください(車椅子スペースに限りがございます)。

※28日[日]託児サービスあり。

ロームシアター京都WEBサイトにてご確認ください。

※営利目的での転売を禁止します。



公演WEBページ

お問合せ:ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL: 075-746-3201

Enquiry: ROHM Theatre Kyoto

TEL: +81(0)75-771-6051(ROHM Theatre Kyoto Office)

Mail: info@rohmtheatrekyoto.jp

<https://rohmtheatrekyoto.jp/en/>

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

共同招聘:愛知県芸術劇場、彩の国さいたま芸術劇場

協力:東京新聞 | 後援:駐日ベルギー王国大使館

助成:ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーベル



DANCE REFLECTIONS
BY VAN CREEFF & ARPELS

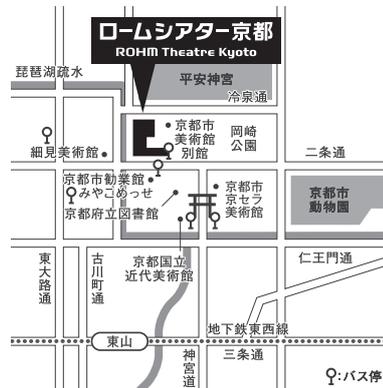
ツアー情報:

6月19日[金]-21日[日] 彩の国さいたま芸術劇場

19 (Fri) - 21 (Sun), June, Saitama Arts Theater

6月24日[水] アマノ芸術創造センター名古屋

24 (Wed), June, Amano Performing Arts Center Nagoya



ロームシアター京都

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

TEL: 075-771-6051(代表)

<https://rohmtheatrekyoto.jp>

営業・開館時間は状況により変更することがあります。

最新情報はお問合せください。

Instagram: [rohmtheatrekyoto](https://www.instagram.com/rohmtheatrekyoto)

Facebook: [ROHMTheatreKyoto](https://www.facebook.com/ROHMTheatreKyoto)

X: [RT_Kyoto](https://twitter.com/RT_Kyoto)

・京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車

1番出口より徒歩約10分

・市バス32・46系統「岡崎公園 ロームシアター京都・

みやこめっせ前」下車すぐ ほか